

交通安全とやま



No.399 令和7年夏号

発行者／公益財団法人富山県交通安全協会・交通安全活動推進センター



第58回交通安全子ども自転車富山県大会

交通安全への提言



井上 数也

富山県警察本部
交通部長

富山県交通安全協会の皆様には、平素より地域の交通安全の推進に格別の御理解と御支援を賜わり、厚く御礼申し上げます。

また、先般、実施されました「夏の交通安全県民運動」に際しては、街頭での広報啓発、交通安全イベントの実施等、県民の皆様に対する力強い呼び掛けを通じて、交通安全意識の高揚に大きく貢献していただきました。貴協会の地域に根ざした幅広い活動が、交通安全の実現につながっており、心より感謝申し上げます。

さて、県内の交通事故情勢を見ますと、昨年の交通事故の発生件数は、平成13年から24年連続で減少となり、死者数につきましても、戦後最少となる22人となったところであり、今年に入り、6月末の暫定値ではありますが、発生件数が868件、負傷者数が973人、死者数が10人と、前年同期と比較して発生件数、負傷者数は減少しているものの、死者数は3人増加しております。さらに、死者数に占める高齢者の割合が8割と依然として高く、歩行中の事故が昨年より増加しております。

また、自転車の交通事故発生件数は、昨年209件発生しており、前年と比べて減少しているものの、その内訳を見ますと、自転車側何らかの法令違反が見られた事故が約65パーセントを占めております。さらにヘルメットの着用率は、中学生の約70パーセントが着用していたのに対し、高校生、高齢者等の着用率は10パーセント台と低い状況にあります。

このような情勢を踏まえ、県警察では、高齢者の交通事故防止対策として、高齢歩行者が関与する死亡事故の多くが、夕暮れや夜間に発生していることから、LED用品や反射材の着用を呼び掛ける継続的な広報啓発や参加・体験・実践型の交通安全教育を推進していくこと、横断歩道の安全対策として、校区全体で横断歩道における安全対策に重点的に取り組む「モデル校区」において、街頭活動や指導取締りを強化するとともに「ドライバーに対しては「横断歩道における一時停止の徹底」、歩行者に対しては「ハンドサインの励行」を啓発することが、それぞれ重要と考えております。

また、自転車対策としては、来年4月1日から16歳以上の自転車違反者に対して、「交通反則通告制度」が適用されるため、ヘルメット着用と合わせて、交通ルールを周知するための啓発活動や指導取締りを一層推進してまいりたいと考えております。

悲惨な交通事故を一件でも減らすためには、前述の啓発活動や指導取締りによって県民一人一人の交通安全意識を高めることが重要であると考えておりますが、これは県警察だけではなく、貴協会をはじめ、自治体、事業所、学校等と連携した活動を展開して初めて成し得るものと考えております。

交通事故の無い「日本一安全で安心して暮らせる」とやまの実現に向けて、貴協会を始め、関係機関・団体の皆様方と緊密に連携を図り、交通安全をめぐる課題に真摯に対処してまいりたいと考えておりますので、今後とも御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の今後益々の御発展と、会員の皆様の御健勝と御活躍を御祈念申し上げます。

第58回交通安全子ども自転車富山県大会を開催しました

団体優勝は南砺市立南砺つばき学舎

7月6日(日)9時より富山市高島の運転教育センター及び自転車練習コースにおいて第58回交通安全子ども自転車富山県大会（主催：当協会・県警察本部、後援：県交通対策協議会・県教育委員会）を開催しました。

この大会は、競技を通じて自転車運転の知識や技能を児童が身に付けるとともに、交通安全意識を向上させ小学校の交通安全リーダーとして交通事故防止を図ることを目的として毎年この時期に開催されており、県内14警察署を代表する小学校（14小学校56人）が参加しました。

出場した選手らが暑い中、競技に真剣に取り組んだ結果、団体の部は南砺市立南砺つばき学舎チームが、個人の部は平田想選手（南砺市立南砺つばき学舎6年）が優勝しました。

団体優勝した南砺市立南砺つばき学舎の4人の選手は、8月6日(木)に東京都内で開催される全国大会に当県代表として出場します。入賞したのは次の方々です。

【団体】 優勝：南砺市立南砺つばき学舎チーム、準優勝：小矢部市立石動小学校チーム、3位：砺波市立砺波東部小学校チーム

【個人】 優勝：平田想（南砺市立南砺つばき学舎6年）、準優勝：中村綾杜（同6年）、3位：中島悠月（同5年）、4位：平松蒼唯（同6年）、5位：大西杏美（小矢部市立石動小6年）、6位：山作真希（同6年）、7位：高野智弘（富山市立古沢小6年）、8位：小柴樺月（富山市立光陽小6年）、9位：柏朋希（砺波市立砺波東部小6年）、10位：森本結子（高岡市立伏木小6年）



団体準優勝：小矢部市立石動小学校チーム



団体優勝：南砺市立南砺つばき学舎チーム



団体3位：砺波市立東部小学校チーム



学科問題に取り組む児童たち



スラローム走行にチャレンジする児童



白バイ隊員による模範走行

- (3) 令和7年度中の富山県交通安全協会
の主要行事について
- (2) 令和7年度交通安全年間スロー
ガンポスターの入選作品について
- (1) 令和7年度事業計画及び収支予算
について
- (4) 令和7年度事業報告(案)について
また、次の事項について報告しました。
- (3) 令和7年度収支決算(案)について
理事の選任(案)について
- (2) 評議員の選任(案)について
- (1) 令和6年度事業報告(案)について
令和6年度収支決算(案)について

**(公財)富山県交通安全協会
第20回評議員会(定時)の開催**

去る6月11日(水)富山電気ビルにお
いて第20回評議員会(定時)を開催し、
次の各議案について決議しました。



視野診断計

「自分の目がどのくらいの
範囲(上下左右)まで
みえているか」を検査す
ることができます。(検査
の一例です。)

地域が集まりや事業所で行う交通安
全教室などの行事や催し物で出張検査
を希望される場合はお住いの地域の支部
交通安全協会までお問い合わせください。
安全に運転しようという気持ちがあつ
ても、身体の機能が低下すると運転に必
要な情報がキャッチできなかつたり、運
転操作が遅れたりして思いもよらない結果
を招くことがあります。検査機器を利
用してご自身の身体機能を検査してみ
ませんか？当協会では出張検査を無料
で行っています。

**運転に必要な身体機能を
無料で出張診断します**

横断歩道一時停止 “止まってくれてありがとう運動” 推進中

JAF（日本自動車連盟）が毎年全国一斉に調査している、信号機のない横断歩道における横断歩行者等がいる場合の自動車の一時停止率調査で富山県は昨年31.6%と一昨年から18.4ポイント減少し、全国最下位という残念な結果になりました。

当キャンペーンを実施した令和3年は25.1%（全国33位）、令和4年は37.0%（全国25位）、令和5年は50.0%（全国20位）と富山県の一時停止率は順調に推移してきましたが、まだまだ啓発活動が必要です。

当協会、富山エフエム放送（株）、及び県安全運転管理者協会では、更なる歩行者優先意識醸成のため6月23日（月）から8月29日（金）の間、「横断歩道一時停止」止まってくれてありがとう運動」を実施しています。

ラジオ放送で啓発CMを通勤時間帯中心に放送するだけでなく、ふうふう亭みるみるさんがパーソナリティを務めるラジオ番組「水曜日のひなたぼっこ」内で交通安全に関する川柳の募



県内事業所にミニのぼり旗を配布し、一時停止を呼びかけます。

集をおこなうなど多角的に信号機のない横断歩道での一時停止（歩行者優先）を県民に呼びかけます。

横断歩道は歩行者優先です！

○運転者の皆さん

信号機のない横断歩道での歩行者優先はマナーではなくルールです。横断歩道を渡ろうとする歩行者がいる場合は、一時停止し通行を妨げないようにしてください。

○歩行者の皆さん

ハンドサインで運転者に横断歩道を渡る意思を伝えましょう。また、止まってくれたドライバーに「ありがとう」の気持ちを伝え渡りましょう。信号機のない横断歩道での交通事故が1件でも少なくなるよう県民の皆さんのご協力をお願いします。

「ありがとう」の気持ちを伝えるとドライバーはもっと優しい運転をしようという気持ちになるんだね。



とやまるくん

詳しくはこちら



FMとやまHP

令和7年

交通安全ファミリー作文「コンクール」作品募集中

皆さんの家庭をはじめ、学校、地域等において、交通安全について考え、話し合った内容や、その結果実行していることなどを作文に書いて応募してください。

応募締切

令和7年9月12日（金）消印有効

応募区分

小学生の部
中学生の部

詳しくはこちら



当協会HP

令和8年使用

交通安全年間「スローガン（標語）」募集中

社会の交通安全意識を高め、交通事故を減らす目的で、スローガンを募集します。

最優秀作は令和8年春と秋の全国交通安全運動で使用するポスターのスローガンになります。

応募締切

令和7年9月22日（月）消印有効

応募部門

一般部門A（どなたでも応募可）
自動車の運転者（同乗者を含む）に呼びかける部門

一般部門B（どなたでも応募可）
歩行者等（自転車利用者を含む）に呼びかける部門

こども部門（中学生以下のみ応募可）
こどもたちに交通安全をよびかける部門

詳しくはこちら



当協会HP

もしもに備えて自転車にも保険を

自転車は自動車と同じ車両です。きちんと点検整備した安全な自転車で、ルールを守り安全運転を心がけましょう。



知っていますか緑色TSMマーク

令和4年12月1日から緑色TSMマーク（自転車向け保険）の運用が開始されました。

手続きは簡単

お近くの自転車安全整備店で、点検整備（有料）を受けTSMマークを貼ってもらうだけ。

年齢に制限なし

年齢に関係なくどなたでも入れます。

誰が運転していても保証の対象

TSMマークが貼付された自転車であれば原則どなたが運転しても補償の対象となります。

もしもの時に安心

緑色TSMマークはすべての人身事故の相手賠償責任補償の対象となります。賠償責任補償の限度額は1億円。安心が広がります。

安心の示談交渉サービス

スムーズな解決のためにあなたに代って保険会社が示談交渉を行います。さらに、安心が広がります。ただし、自転車の搭乗者が業務中の場合は、対象外となります。（保険金は支払われません。）

※TSMマーク付帯保険の有効期間は1年です。毎年1回は点検整備を受けて、TSMマークを更新しましょう。





各地区の交通安全活動状況

これらの活動は皆様方からいただいた協力金・賛助金で行っています。
これからもご理解とご協力をお願いいたします。



各地区の交通安全活動はこちらからもご覧いただけます。

◆高岡交通安全協会◆



といでこども園の園児が交通安全に関する願いを書いた短冊を取り付けた七夕飾りを、高岡警察署、高岡防犯協会戸出支部などの協力を得て、JR戸出駅の駅舎に掲示しました。

◆立山町交通安全協会◆



榎町公民館において、地域の高齢運転者を対象に、「点灯くんミニ」などの診断機器を使用する「健康と交通安全を考えるドライバーズクリニック」を開催しました。

◆黒東交通安全協会◆



オートボックスが開催する「グッドドライバーズレッスン」の共催として高齢者ドライバーを対象に視野検査や動態認知検査を実施しました。

◆氷見市交通安全協会◆



運転者や歩行者が、花壇の花を見て心にゆとりを持つことで交通安全になるよう、窪小学校の児童と共に氷見警察署前交差点に設置されているふれあい花壇を植栽しました。

◆富山中央交通安全協会◆



岩瀬スポーツ公園前道路において、萩浦保育園の園児が作成した交通安全メッセージ入りのカードと啓発チラシを通行する運転手に手渡し、交通事故防止を呼びかけました。

◆黒部市交通安全協会◆



さわやか運動の日にあわせて、桜井高校において、登校する生徒にチラシなどを配付し、自転車乗車時のヘルメット着用やマナーアップを呼びかけました。

◆砺波市交通安全協会◆



太田認定こども園において、4歳～5歳児を対象に、交通安全教室を開催しました。教室では、園児と横断歩道を渡る際の「止まる」「見る」「聞く」の3つをお約束しました。

◆富山南交通安全協会◆



中学生の自転車乗車時の事故防止を目的として、山室中学校において、自転車シミュレータを使用した体験型の交通安全教室を開催しました。

◆魚津市交通センター◆



魚津にじいるこども園において、当協会が後援するトヨタ交通安全教材贈呈式が行われ、その際に実施した交通安全教室では、園児たちに安全な横断歩道の渡り方を指導しました。

◆南砺市交通安全協会◆



歩行者が横断歩道を渡る際、手のひらを運転者に見せる合図「ハンドサインおシェル」と銘打ち、貝（シェル）をあしらったマスコットを運転者に配布し、歩行保護を呼びかけました。

◆富山西交通安全協会◆



富山西警察署玄関前に、鶺鴒保育園の年長児が交通事故防止の願いを込めた短冊を付けた七夕飾りを掲示し、交通ルールを守ることを誓いました。

◆滑川市交通安全協会◆



夏の交通安全県民運動に先立ち、市民の交通安全意識の高揚に役買っていただくため、プロサッカーJ2カターレ富山所属の松岡大智選手を交通安全大使に委嘱しました。

◆小矢部市交通安全協会◆



小矢部警察署において、当協会・警察署の交通安全啓発活動などに協力していただく石動西部こども園の年長園児に対し、メルヘンポリスの委嘱状の交付を行いました。

◆射水交通安全協会◆



当協会職員と市役所職員が協力し、保育園児を対象に交通安全教室を開催しました。教室では大型紙芝居や交通安全体操などを行った後、横断歩道を安全に渡る練習も行いました。

◆上市区域交通安全協会◆



ショッピングセンターの来場客に大岩山日石寺で交通安全の御祈禱を受けた「とやまのくんの焼き印入り」のコースターとチラシを配り、無事故無違反を呼びかけました。